

～上信越自動車道との新たな結節点～ (仮称) 屋代スマートインターチェンジの新規事業化が決定

スマートインターチェンジ整備により、市内産業をさらに進化・発展させるとともに 人・モノ・文化の新たな流れを生み出し、市内全域の活性化に寄与する

地域開発推進室 (内線 4123)

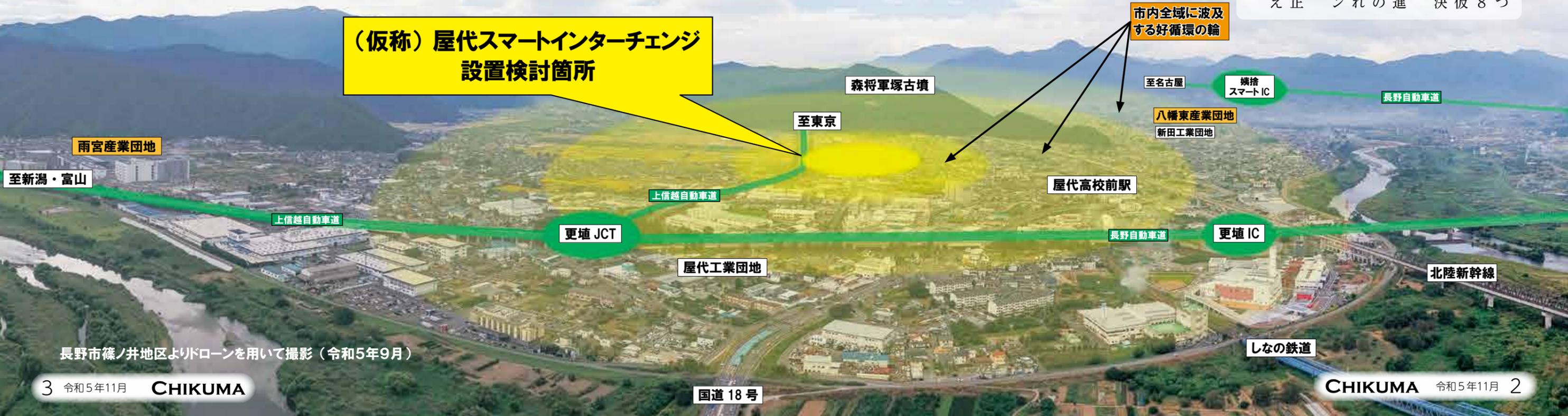


(仮称) 屋代スマートインターチェンジ
連結許可書 伝達式 (令和5年9月)
東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所長 (左) 立会いの下、国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所長 (右) から連結許可書を受けた小川市長 (中央)

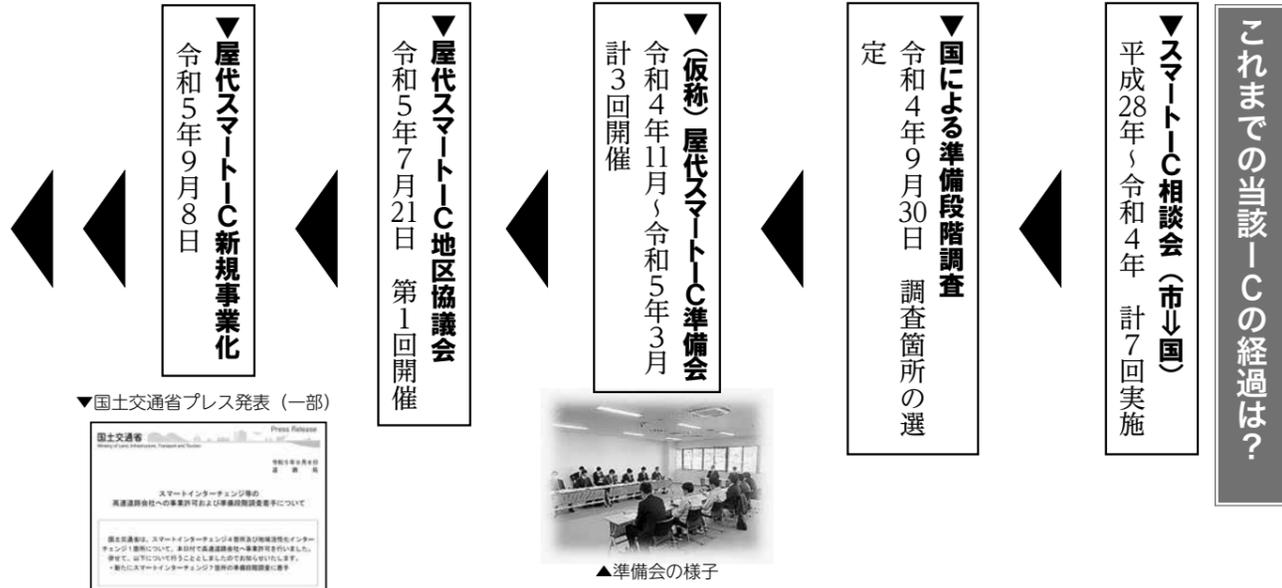
市では「交通の要衝」という強みを活かしたまちづくりを進めています。その成果の一つとして、9月8日(金)、国より上信越自動車道に新たに設置する(仮称)屋代スマートインターチェンジの新規事業化が決定されました。

現在、市内では複数の大規模な産業団地の形成が進んでおり、「次世代産業」のさらなる発展という市の未来を見据えた重要な局面に立っています。この流れをより加速させるため、このスマートインターチェンジの整備を着実に進めていきます。

*スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は地元の方々と利用者のご意見を踏まえて決定されます。



長野市篠ノ井地区よりドローンを用いて撮影 (令和5年9月)



観光促進

関東方面から市の主要観光地である「あんずの里」「科野の里歴史公園」へのアクセス時間が約7分短縮されるとともに、渋滞を回避したアクセス性向上によりさらなる入込客数の増加が期待されます。

さらに、市内の他の観光拠点への周遊観光につながり、戸倉・上山田温泉への宿泊客の増加が期待されます。

更埴IC周辺道路の渋滞緩和

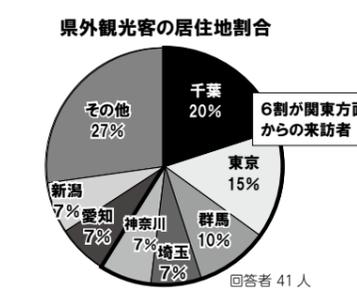
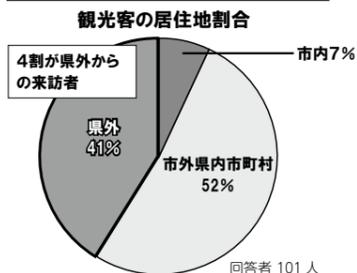
更埴ICへの一極利用集中からの分散が図られ、国道18号で1日あたり約700台、国道403号で約2300台の交通量が減少し、混雑度の緩和が期待されます。

産業の促進・物流の効率化

既存の屋代・新田工業団地や順次操業が開始される雨宮産業団地から、新たに発生する大型車輸送交通の東京方面への高速道路アクセス時間が最大約4分短縮されることで、輸送時間の短縮やコストの削減が期待されます。

どんな整備効果があるの？

平成31年4月実施 市内観光客アンケート調査より



▶製造業A社の声 製品運送や社員の通勤の点で国道18号の慢性的渋滞を懸念しています。そのため、現在整備が進む国道18号バイパスと共に、交通の分散が図られる当該スマートIC設置を強く希望しています。

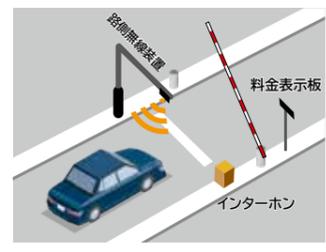


▶運送業A社の声 首都圏への発着が主であるため、既存ICと比べ、より時間短縮できる当該スマートICの早期供用に期待します。

▶製造業B社の声 スマートIC整備により東京方面と名古屋方面の使い分けができ、効率的な運送ができます。

- 現在計画しているスマートICの概要は左記の通りです。
- ▼設置計画箇所 上信越自動車道(坂城IC〜長野IC間)
 - ▼接続形式 本線直結型
 - ▼形式 フルインター形式(全方向)
 - ▼運用形態 ETC搭載車両全車種 24時間通行可能

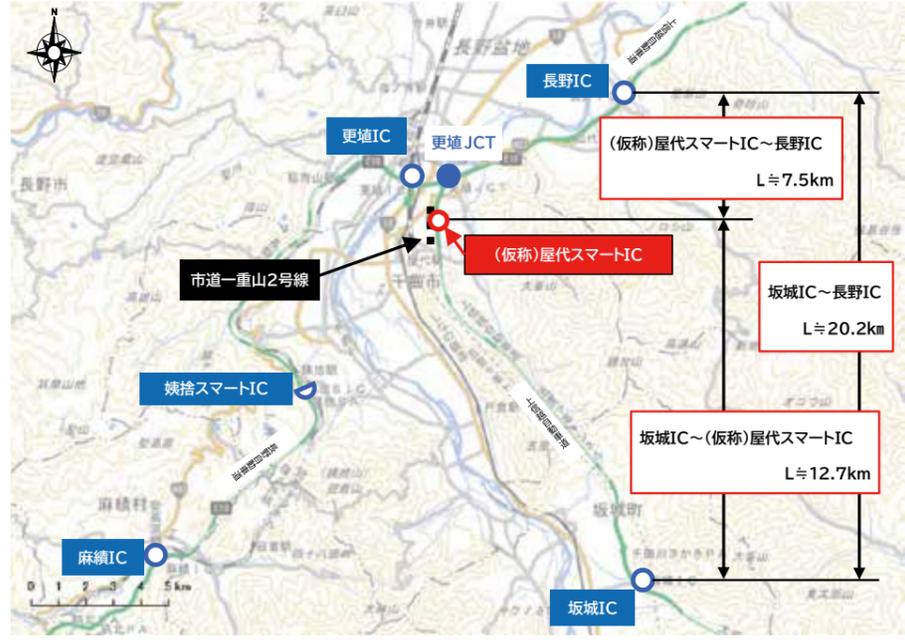
どんなスマートICになるの？



スマートインターチェンジ(スマートIC)とは、自動料金収受システム(ETC)搭載の車両に利用を限定したインターチェンジのことです。

利用車両が限定されていることから簡易的な料金所の設置で済み、従来のインターチェンジに比べ低コストで導入できるなどメリットがあります。

スマートインターチェンジって？



どこに整備されるの？

(仮称)屋代スマートインターチェンジは、上信越自動車道の坂城ICと長野ICの間に整備を予定しています。

なお、詳細な整備位置は、今後着手していく測量・設計を通じ、決定していきます。

